

第8図 九州中北部における火山岩分布と放射年代値 プーゲー重力異常(単位 mgal)は駒澤(1982)による(密度仮定 $\rho=2.2\text{ g/cm}^3$)。放射年代値は本報告の年代値(第1表, 第3表)及び既存の年代値(第7表)を含む。

Fig. 8 Distribution of volcanic rocks and their radiometric ages superimposed on the Bouguer anomaly map (mgal) in the central-north Kyushu, Japan. Density contrast is assumed as 2.2 g/cm^3 after KOMAZAWA (1982). Radiometric age data are shown in Table 1, 3, 7.

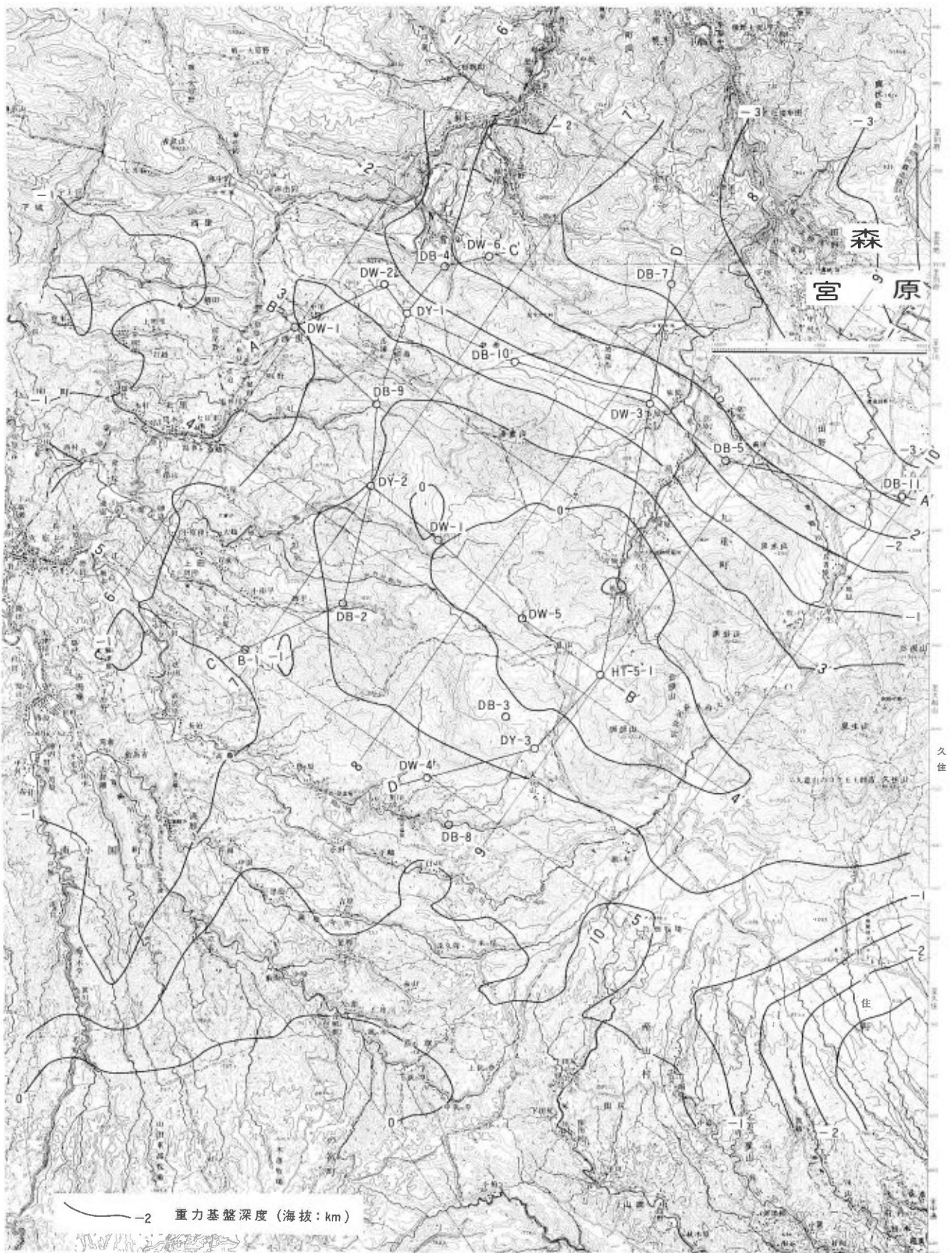


第2図 地表面地質と坑井位置図 地層の略号は第1表参照のこと。「この地図は国土地理院発行の5万分の1(森)(宮原)(別府)(久住)を使用したものである」
 Fig. 2 Surface geology and bore holes locality map.



第4-1図 重力基盤深度図(通産省, 1983c) 実際の坑井の基盤深度で補正している基盤岩の浅い部分では実際とよく一致しているが, 水平方向の密度勾配補正をしていないので低重力異常帯を過大評価している。「この地図は国土地理院発行の5万分の1(森)(宮原)(別府)(久住)を使用したものである」

Fig. 4-1 Contour line map for depth of basement based on Bouguer anomaly.



第4-2図 重力基盤深度図 (駒澤・鎌田, 1985) この基盤深度は第三系・第四系を 2.3 g/cm^3 , 先第三系基盤岩類を 2.6 g/cm^3 と密度仮定して二層構造で解析したものである。但し坑井で確認された基盤深度とはマッチングしていないため全体的に約 $1,000 \text{ m}$ 浅く求められている。「この地図は国土地理院発行の5万分の1 (森) (宮原) を使用したものである」
 Fig. 4-2 Contour line map for depth of basement based on Bouguer anomaly.